

平成29年3月6日

鹿児島大学病院 消化器内科 で  
IgG4 関連疾患・腓疾患の治療を受けた患者さんへ  
( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

IgG4 関連疾患における免疫学的病態解明、およびアポトーシス抑制因子 (apoptosis inhibitor of macrophage: AIM) のバイオマーカーとしての有用性の検討

【研究機関】 鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】 田ノ上 史郎 (消化器内科 助教)

【研究の目的】

「IgG4 関連疾患 (IgG4-related disease)」は、世界中で注目を浴びている新しい疾患概念で、血清 IgG4 高値と様々な組織への IgG4 形質細胞浸潤を特徴とします。形質細胞やリンパ球が増加し、血清 IgG もしくは IgG4 値の上昇を伴いますが、その発症機序は不明で疾患特異的なマーカーも確立されておらず、中には悪性疾患との鑑別に苦慮する例も存在します。また多くの症例ではステロイド治療が奏功しますが、ステロイド抵抗性で再燃を繰り返し治療に難渋す

る症例があります。病態として自己免疫的機序が考えられていますが、その発症機序はいまだ不明です。今回 IgG4 関連疾患の新たな指標として、マクロファージアポトーシス抑制因子というたんぱく質に着目しました。今回の研究成果から、IgG4 関連疾患のより確実な診断やより良い治療法の選択が可能となり、今後の診療に役立てることを目的とします。

### 【研究の方法】

●保存血清中のマクロファージアポトーシス抑制因子濃度を ELISA 法を用いて測定し、各疾患群（IgG4 関連疾患、膵癌、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液腫瘍）及び健常人間で比較します。また、患者背景（年齢、性別、発症年齢）、病型、り患部位、病勢、臨床症状や各種血清学的検査値との相関を調べます。また保存リンパ球をフローサイトメトリーを用いて B 細胞、T 細胞、マクロファージといった免疫担当細胞のサブセット表面形質や機能解析を行います。

### ●対象となる患者さん

平成 18 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に、鹿児島大学病院 消化器内科を受診され、IgG4 関連疾患、膵癌、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液腫瘍と診断された患者さんで、血液保存に同意して頂いた方（承認番号 26-6）を対象にしています。

### ●診療録（カルテ）、保存検体から利用する情報

患者背景（年齢、性別、罹病期間、治療歴、発症年齢）、病型、り患部位、病勢、臨床症状

血清学的検査値

(CBC, AST, ALT, GTP, ALP, LDH, TP, Alb, CRP, IgG, IgG4, IgE, IgA, IgM, ANA, C3, C4, RF)

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野の研究費で実施します。企業等からこの研究のための寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

助教 田ノ上 史郎

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504